

表象 represent

再現前化すること, されたもの。

Perspective

遠近法、透視図法、透視画法、人工的遠近法、望遠図法

投影、展望、見通し

光学 (ラテン語でPerspectiva)

透視図以前の世界

ギリシア美術

ビザンチン美術

透視図法の確立 ルネサンス

ブルネレスキ

アルベルティ『絵画論』1453年

透視図法を論理的に裏付け、数学的一貫性を取り入れた。

デューラーの遠近法補助具

マサッチオ『三位一体』1425頃

フラ・アンジェリコ『受胎告知』1438頃

レオナルド「絵画論」

レオナルド『最後の晩餐』1495-97

カメラのまなざし

マンテーニャ『死せるキリスト』1460頃。望遠の構図

キルヒャーによるカメラオブスキュラの原理の図解

カナレット『総督宮にもどるブチントーロ船』1730頃

ティエポロ「芸術の勝利」1731頃：圧倒的な視覚的イリュージョン

ベラスケス『侍女たち』1656：視線の交錯する複雑な空間

図法幾何学Descriptive Geometry

Gaspard Monge, 18世紀フランスの数学者

コンピュータで投影図を作成するためのパラメータ

「最後の晩餐」の図学的分析：透視図から空間を逆算

透視図法を超えて

視覚のピラミッド？

セザンヌ「果物、ナプキン、ミルク差しのある静物」1880頃

ジョルジュ・ブラック「レストランの家々」1908：セザンヌ的キュビズム

ピカソ「アヴィニヨンの娘」1907複数の視点を一挙にもつ。分析的キュビズム。

デュシャン「階段を下りる裸体 No.2」1912畳み込まれた運動と時間

High Dynamic Range Image 隅々まで適正露出, 可能な限りの詳細がすべて見える写真

中西泰人「カメラバー」2005 重ね合わされた時間

参考文献

伊藤俊治「電子の遠近法：美術史とCG」藤幡正樹監修『コンピュータグラフィックスの軌跡』ジャストシステム、1998

小山清男、面出和子『造形の図学』日本出版サービス、1982

末永照和監修『カラー版 20世紀の美術』美術出版社、2000

ウィリアム・J・ミッチェル『リコンフィギュアード・アイ：デジタル画像による視覚文化の変容』伊藤俊治監修、福岡洋一訳、アスキー、1994

『西洋の美術：その空間表現の流れ』展カタログ、国立西洋美術館、1987

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社、1990